



# 寶性

令和六年 第一号 お正月発行



住職 画

令和六年の新春を迎え、謹んで至心に篤い三宝を誦し、併せて檀信徒各位のご平安を祈念申し上げます。



住職	松野 大英
副住職	松野 大樹
筆頭総代	遠山 長昭
法類	総代 一同
寺族	後藤 了寛
	松野 弘美

## 修正会

一年の健康と幸せをお守りする修正会ですが、コロナウイルス感染防止のため、念を入れて中止とさせて頂いております。もちろん「心願成就」「家内安全」「無病息災」のご先祖供養「精霊菩提」等々のご祈願は、住職・副住職で「修正会法要」でお勤め致します。

お札・絵馬・交通安全ステッカーは、ご用意しておりますので、ご一報下さい。



絵馬

土鈴

交通安全ステッカー

御札

御守

十二支のうち唯一想像の動物「辰」は、「辰虫」が原字にて、「振」「震」の意味を持ち、動いて、伸びる、整うと意味し、草木が盛んに成長し、形が整った状態を表わすといわれています。

「辰」が「龍」としたのは、十二支をわかりやすくするために動物に充てたとされています。又、方角は、東南東「辰巳」と呼ばれた地名は、江戸城から見ると、南東にあつたためにつけられた地名です。

そして、「辰」は、日、月、星を表わす天体を示すものにて、ここでの「北辰」は、北極星と江戸時代の剣術流派「北辰一刀流」は、千葉家の北辰（北極星）の信仰が名前の由来だそうです。

竜王、竜宮の神は、水を司る水神様、農業漁業の豊作豊漁を願っています。

又、「龍」にまつわることわざを紹介いたします。



### 一、登竜門

黄河に集まる多くの鯉、これらは「登竜門」という関を登るがために、幾度も幾度も挑戦し滝を登ろうとします。しかし、この難関は突破することは容易ではなく、ここを登りつめたものが鯉から龍になれるといえます。人の世もいくつか登竜門があります。これら登竜門に挑戦し、超えなければならぬことがあるようです。この「登竜門」にまつわる古くからの紋様があります。「荒磯」という図柄にて、鯉がまさに今登竜門に挑む様子が描かれています。



## 嵯峨面

浄土宗特別寺院・京都・清涼寺に伝わる、嵯峨狂言に使われた面を復刻した民芸品です。古い和紙を使い、趣のある面です。客間の壁に飾ってあります。



## 伏見焼

京都伏見稻荷に伝わる焼物です。現在ただ一軒のみ残る土物の人形です。客間の床の間に飾ってあります。「嵯峨面」ともどもご覧下さい。



## 境内の花

西王母



どうだんつつじ



紅葉



## 秋季彼岸会報告

四年ぶりに通常の秋の彼岸会法要が開催されました。

「秋の彼岸」は「月の彼岸」ともいわれます。月の光は、仏様の光です。この御光にちなみ「献灯」をしていただきました。

檀信徒各位とご一緒に声を出してお経をお唱えできましたこと、大変嬉しく感謝申し上げます。



## 年間行事予定

令和六年度(二〇二四年)

- |             |                   |
|-------------|-------------------|
| 一月 三日(水)    | 修正会               |
| 二月 十五日(木)   | 涅槃会               |
| 三月 二十日(水・祝) | 春季彼岸会回向           |
| 四月 八日(月)    | 花まつり              |
| 五月二十五日(土)   | 施餓鬼会              |
| 七月 吉日       | 七夕・蓮見の会(茶室にて抹茶拝服) |
| 七月 十三日(土)   | 迎え盆・七月盂蘭盆会回向      |
| 七月 十六日(火)   | 送り盆               |
| 八月 十三日(火)   | 迎え盆・八月盂蘭盆会回向      |
| 八月 十六日(金)   | 送り盆               |
| 九月二十三日(月・祝) | 秋季彼岸会回向           |
| 十一月 吉日      | 實性寺寄席             |



浄土宗宗紋  
月影杏葉紋



## 足立広報

「徳川家ゆかりのお寺」に紹介されました。

流山街道添いの實性寺は、東照宮参拝の御成街道、そして御鷹狩のお休み処として、二代將軍秀忠公、三代將軍家光公の立ち寄り処となりました。

寺紋の「葵の紋」と山門の朱塗りの色は徳川家より許されたものと伝わっております。

ゆかりの地 平安の仏をまつる徳川家ゆかりの寺院  
**實性寺**  
(延徳元(1489)年創建) 花廻 3-17-18

ゆかりの地  
五

平安時代の  
名作で大変貴重!

實性寺の山門

2代將軍・秀忠と3代將軍・家光が鷹狩\*4の際に訪れた寺院です。当時、この周辺は区内有効の教育施設が多く集まった地域で、幕末にこのお寺で開かれた私塾では、寺子屋の域を超えた高等教育が行われていました。

▲ご本尊の古仏「阿彌陀如来坐像」(足立区登録文化財)

★4…飼いならした鷹を野山に放って鳥や猪などを狩る狩猟の一種。江戸時代の武家たちは、技の向上と訓練のために盛んに催した。当時、足立区全域が鷹狩を行う「鷹場」となっていた。

Jisyoji  
Tea ceremony  
Classroom

# 實性寺 茶道教室

1月の稽古



客殿床の間飾り



毎月五回性寺茶室にてお稽古しております。(水曜日・土曜日)  
お気軽にお遊びにいらしてください。  
見学も自由になさいます。

皆具 独楽ツナギ



●ご法要等のお塔婆を建立される方は、遅くとも十日前迄にお申し込み下さい。お電話よりファックスの方が正確ですのでご利用下さい。

ファックス番号 03(3883)3227

振替 口座 00190-6-258873

※振込用紙をご入用の方はお申し出下さい。

〒121-0061 東京都足立区花畑三十七-十八  
電話 03(3883)8866



浄土宗 實性寺

<http://www.jisyoji.com>

